

平成29年1月18日 話 題 事 項
平成29年1月12日 資 料 提 供 済

## 『耕作放棄地再生活動協働モデル事業』企画提案募集のお知らせ

～ あなたのアイデアを農業・農村づくりに活かしてみませんか！ ～

### 1 目的

和歌山県では、多様な担い手が参画する「農地保全活動のモデル」を構築することを目指しています。この度、中山間地域（※1）が抱える課題を解決するため、NPO等が持つ新たなアイデアや社会経験を生かした企画提案を広く募集します。

### 2 募集する企画提案

耕作放棄地（※2）を再生、解消するための企画を提案してください。NPO等の特長を活かした柔軟な発想による企画を期待しています。

県では、平成29年度も引き続き、耕作放棄地再生活動協働モデル事業として公募を予定しており、選定された企画が新年度の早期に開始いただけるよう、平成29年1月12日から募集を行います。

募集内容は・・・

中山間地域を中心に増加している耕作放棄地を再生、または農地として活用していくための新たな手法

例えば・・・

- ☆ 耕作放棄地を含めた中山間地域におけるNPOや学生等の援農支援
- ☆ 耕作放棄地を活用し、地元企業も参画した特産加工品の原料づくり
- ☆ 耕作放棄地を活用した小中学生等児童に対する食育や環境学習
- ☆ 都市住民との交流による棚田の復旧、耕作放棄地の解消
- ☆ 耕作放棄地を活用した米、野菜のオーナー制度 など

### 3 応募資格

次の要件を満たすNPO等

- (1) 和歌山県内に所在する生産組織や小中学校等、または、県内に事務局のある特定非営利活動法人（NPO法人）あるいは非営利の社会貢献活動を行う活動団体（ボランティア団体等、法人格を持たない団体を含む。）であること。
- (2) 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体でないこと。
- (3) 暴力団でないこと。暴力団若しくは暴力団員等の統制の下にある団体でないこと。

### 4 申込先

団体が所在する地域の振興局農地課（東牟婁においては農業水産振興課）

提出先	郵便番号	住所
海草振興局農地課	〒640-8585	和歌山市小松原通1-1
那賀振興局農地課	〒649-6233	岩出市高塚209
伊都振興局農地課	〒648-8541	橋本市市脇4丁目5番8号
有田振興局農地課	〒643-0004	有田郡湯浅町湯浅2355-1
日高振興局農地課	〒644-0011	御坊市湯川町財部651
西牟婁振興局農地課	〒646-8580	田辺市朝日ヶ丘23-1
東牟婁振興局農業水産振興課	〒647-8551	新宮市緑ヶ丘2丁目4-8

### 5 応募締切

平成29年3月17日（金）（必着）

### 6 委託内容

事業実施期間は最長3年とし、20a以上で取り組む場合は、1団体につき1年目50万円、2年目30万円、3年目20万円（消費税及び地方消費税を含む）、20aに満たない場合はその半額を限度として企画提案内容に応じて決定します。

また、事業の受益者が特定少数の者に限定されず、広く県民に還元される公益性のあること、他の団体（県の他事業を含む。）等から補助金等の資金支援を受けておらず、もし受けている場合は、本事業との区分けが明確にできることが必要です。

なお、過去に耕作放棄地再生活動協働モデル事業を受託した団体については、類似の企画提案でないことを原則とします。

### 7 参考ホームページ

和歌山県農林水産部農林水産政策局農業農村整備課

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070500/index.html>

※1 中山間地域とは、「地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な地域」で県内においては、和歌山市以外の市町村が該当します。

※2 耕作放棄地とは、「以前農地であった所が、過去1年間以上作物を栽培せず、しかも、今後数年の間に再び耕作するはっきりした意思のない土地」のことで、本事業では、市町村が実施した荒廃農地の発生・解消状況に関する調査において、荒廃状況区分がAまたはB分類のいずれかに位置づけられた農地（予定を含む）での実施が必要です。

担当課室	農業農村整備課
担当者	上山・中西
電話	073-441-2943（直通）

# 耕作放棄地再生活動協働モデル事業

## ○年度別実施状況

年度	団体数	内容	市町村
H20	10	町木のカヤの苗やヨモギを栽培し活用 農作業体験を通じた子供への教育(～H21) 菜の花を栽培し、景観形成と種油利用 農作業体験を通じた都市住民との交流(～H22) 大豆や山菜を栽培し、加工品を創出(～H21) 景観作物を栽培し、住民の交流拠点化 古道沿いに睡蓮等の水生植物を栽培 タラやマタタビを栽培し活用 小麦やソバを栽培し、農作業体験 大学生による農地再生活動の仕組みづくり	紀美野町 岩出市 紀の川市 橋本市 かつらぎ町 広川町 田辺市 すさみ町 新宮市 新宮市
H21	2	大豆の栽培・豆腐づくりのオーナー制度 水生植物や生物を増加させ、交流に活用(H23)	海南市 海南市
H22	3	観賞用花木を栽培し、切り枝等を商品化 大学生との協働による米のブランド化 サツマイモを栽培し、加工を含めて商品化	紀の川市 那智勝浦町 串本町
H23	4	綿を栽培し、子供を中心に織物体験を実施 ミョウガを栽培し、都市との交流で販路確保 ワサビを栽培し、都市との交流で販路確保(～H24) サトイモを栽培し、加工品を含めて商品化(～H24)	海南市 高野町 有田川町 田辺市
H24	1	香草(バジル等)を栽培し活用	紀の川市
H25	3	野菜・果樹を栽培し、加工技術を習得 ヤーコンを栽培し、レシピを飲食店等に配布 米や野菜を栽培し、学校給食に提供(～H26)	紀の川市 田辺市 みなべ町
H26	1	ヒマワリを栽培し、景観形成と種油利用	橋本市
H27	1	タマネギを栽培し、地元の加工業者に供給	橋本市
H28	1	伝統野菜の「はたごんぼ」を栽培しPR	橋本市
計	26		

# ○代表事例

## 【みなべアグリ5 ※（みなべ町）】

（平成25年度、26年度実施）

### 企画提案名

耕作放棄地再生と食育推進

### 企画提案内容

学校給食への食材提供による地産地消や食育の推進を図る。

### 活動実績

- ・耕作放棄地75aを再生
- ・小学生の農作業体験（田植え・稲刈り、大根の種まき・収穫）
- ・学校給食への提供（H25：米24俵、大根、H26：米30俵）



### ※ みなべアグリ5

町の農業関係5団体（紀州みなべ梅干し生産者協議会・JA梅部会・農業士会・農業振興協議会・農業委員会）で構成

## 現在の状況

町の給食センターが平成25年度に米飯棟を設置し、地元産の米を使用する状況が整った。

1日約150キロ、年間約24トンの米が必要であり、まず「みなべアグリ5」の米を使い、足りない分は町内産や日高地方産、県内産の米を使って賄うこととしている。

昨年、今年とも約6トンを提供しており、当課の事業終了後、町単独の補助金を創設し、支援している。

### 梅のまちは毎日ごはん給食！

和歌山県日高郡みなべ町

和歌山県日高郡みなべ町学校給食センターでは、町内の4小学校と3中学校に毎日、ごはんが主食の給食を提供しています。ごはんが毎日ということもあり、飽きがこないように、わかめごはんや炊き込みごはん等、変わりごはんが献立に登場します。また、みなべ町は梅の産地であり、地元の梅加工業者で加工された梅肉を使った献立も給食に登場します。



### 取組みの経緯

以前は週1回バンの日もありましたが、朝食がバンの家庭が多いため、朝ごはんとは異なりバンの日になってしまっており、完全米飯給食を導入しました。現在、月1回はみなべ町の梅を給食に使用していますが、今後は地元で生産された野菜も給食に取り入れていきたい考えです。

### 効果や評価は？

献立によっては、バンの方が合うときもありますが、ピビンバやカレーライスなどの献立は人気があり、ごはんが進むようです。また、みなべ町の梅を、梅味増進のや梅肉入りからあげ等のメニューで給食に使用することによって、地産地消の推進を図っています。

### 他の地域で参考になること

毎日ごはんということもあり、ごはんに飽きてしまわないような工夫が必要です。そのため、週1回は半や炊き込みごはん等の変わりごはんを献立に取り入れています。



この日の献立は、カレーライス・牛乳・サラダ・みかん